

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和5年度第3回総会議事録**

令和6年2月5日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
令和5年度第3回総会議事録

日 時：令和6年2月5日（月）10：00～

場 所：ふくしま中町会館6階特別会議室

議事の経過及び内容

午前10時00分、JA福島中央会岩本食農振興部長（以下事務局長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

今泉仁寿会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により今泉会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人および書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には福島県米麦事業協同組合小木理事長、全国農業協同組合連合会福島県本部今福部長、書記に福島県水田畑作課東間副主査を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席および委任状を含め全会員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号 水田農業をめぐる情勢」「報告第2号 令和6年産米の地域の合理的な単収の設定」について議長から、事務局に説明を求めた。

報告事項説明

報告第1号を岩本事務局長より説明。報告第2号を県農林水産部水

田畑作課松本主任主査より説明し、さらに関連して議長より東北農政局福島県拠点に補足説明を求めたところ松井地方参事官より「需給環境が改善傾向にあることから、主食用米の価格も上がっている。6年産は飼料用米から主食用米へのゆり戻しが懸念される。国としては国産需要のある麦・大豆や加工業務用野菜を中心に、畑地化の取り組み等とあわせて定着化を図っていく。各県でも設定した目安の達成に向けて働きかけ願う。」との発言があった。議長より議場に更に意見・質問を求めたが、特になく議事に移った。

6. 議 題

議長より「議案第1号 令和5年度予算の補正（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 岩本事務局長

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第1号」は可決承認された。

議長より「議案第2号 令和6年度水田収益力強化ビジョンの考え方および今後の推進について（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 松本主任主査

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったが、議長から「水田収益力強化ビジョンの作物ごとの作付計画の面積と麦・大豆の推進方針の生産目標面積が異なるが、次回以降その相違点をわかりやすく提示・説明し、各地域農業再生協議会が計画を策定する際、混乱しないようすべき。」との意見があり事務局で対応することとした。議長から挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第2号」は可決承認された。

議長より「議案第3号 令和6年度産地交付金（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 松本主任主査

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第3号」は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長および議事録署名人がここに署名し、押印する。

令和6年2月5日

議長
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長
今泉仁寿 

議事録署名人
福島県米友事業協同組合 理事長
小木義孝 

議事録署名人
全国農業協同組合連合会福島県本部 米穀部長
分新利幸 